

NEMURO

# 人物図鑑

ねむろを愛する  
素敵な人たち



## バイオリンの調べはイタリアの風

根室市民交響楽団

ジュニア・アンサンブル

島<sup>しま</sup>谷<sup>や</sup>

貴<sup>たか</sup>子<sup>こ</sup>さん  
(45)

バイオリンの発祥の地は、イタリア北部の町クレモナ。優しいバイオリンの音色は、クレモナの風景を感じさせてくれます。

そんな、バイオリンをはじめチェロやビオラなどの弦楽器を楽しみ、皆さんと触れ合う機会を広めたいと、ジュニア・アンサンブルの指導にあたっては、市民交響楽団ストリングスのメンバーでもある島谷貴子さんです。

ジュニア・アンサンブルは、幼児から高校生まで弦楽器に興味を持ち、演奏してみたいという子どもたちを対象に、平成16年4月に結成されました。現在会員は21名で、島谷さんをはじめストリングスのメンバーが、月に一度の例会で指導にあたっています。「私たちの指導とあわせ、大きな子どもたちが積極的に小さな子どもたちの指導にあたっ

てくれます。音楽を通して年齢を超えた交流と音楽団体とのかかわりが、子どもたちを大きく育てているようです。」と、わが子の成長を見守る母親のような笑顔を見せます。

島谷さんの、バイオリンとの出会いは小学1年生でした。根室では数少ない教室に通い、その魅力は、現在も札幌まで通うほどのものとなっています。子どもたちにも、弦楽器の魅力をいつまでも感じてほしいと望んでいます。

平成18年の初コンサート以来、毎年自主コンサートを開催し、皆さんに楽しいひとときを提供しています。「機会あるごとに、発表の場を設けていただいています。完成された演奏とまではいきませんが、子どもたちの奏でる音色に、快さと成長を感じていただければと思います。そして、皆さんに子どもたちの頑張りや元気を届けていきたいですね。」と、意欲を見せます。

レパートリーもクラシックやポピュラーなど、幅広く受け入れてもらえる曲目に挑戦をしながら、新たな会員も募っています。ヨーロッパの風を感じるジュニア・アンサンブルの、これからの活動に期待したいものです。